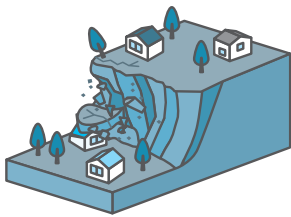


土砂災害・風水害から身を守ろう！

近年、集中豪雨や局地的大雨による土砂災害が全国的に多発しています。梅雨時期から秋にかけては雨量が増すため、特に注意が必要です。自然災害から身を守るためには、それぞれの災害の前兆を知り、自宅周辺の危険な場所や避難所、情報収集の方法などをあらかじめ把握し、いざという時に素早く行動できるよう日頃から準備しておくことが重要です。

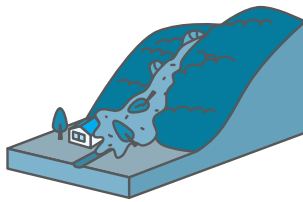
1 大雨の影響による土砂災害の種類と前兆現象を知ろう

がけ崩れ



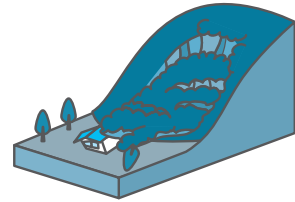
- 斜面がひび割れ、変形がある
- 小石が落ちてくる
- がけから音がする

土石流



- 山鳴りがする
- 川の水位が下がる
- 川の水が濁り、流木が混ざる

地すべり



- 地面にひび割れが入る
- がけや斜面からの水が濁る
- 家や擁壁に亀裂が入る

2 災害時の情報収集に役立つ防災情報のご案内

●城里町メール(事前登録制)

登録したスマートフォンやパソコンのメールアドレスに、町内の災害・防災に関する情報や気象関連情報(震度速報や気象警報など)をメールで配信します。登録は、右記の二次元コードを読み取るか、『t-shirosato@sg-m.jp』に空メールを送信してください。

※[shirosato@town.shirosato.lg.jp]からのメールを受信できるように設定してください。



城里町メール

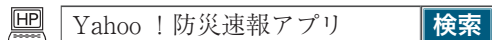
●ウェブサイト「城里町防災情報」

町では、防災情報をまとめたウェブサイト「城里町防災情報」を開設しています。防災行政無線で放送した内容を文字情報で見ることができたり、いつでも避難所の場所や開設状況を確認できたりします。

●Yahoo!防災速報アプリ

町では、「Yahoo!防災速報」サービスによる「自治体からの緊急情報」の配信を行っています。詳細は、右記の二次元コードまたはホームページをご覧ください。

※通知対象地域を「城里町」に設定してください。



iPhoneの方



Androidの方

3 いざという時に備える！河川の水位・雨量等の情報をチェック

◆ご家庭のテレビで河川の水位と雨量が確認できます！

テレビの「データ放送」から、河川防災情報(水位や雨量)をリアルタイムで確認することができます。

〈操作手順〉

- ①テレビのチャンネルを「NHK総合」に合わせる。
- ②リモコンの「dボタン」を押す。
- ③「防災・生活情報」を選び、「河川水位・雨量情報」を選択する。

◆「茨城県防災情報メール」をご活用ください！

お住まいの地域の「気象関連情報・土砂災害情報・河川情報」などを、お手持ちのスマートフォンにメールでお知らせします。登録は、右記の二次元コードを読み取り、空メールを送信後、ご希望の地域を登録してください。



県防災情報メール

【問合せ】 消防・防災グループ(総務課内) ☎ 029-353-7466(直通)

災害によって住まいが 被害を受けたとき最初にすること

風水害や地震などの災害で住家が被害を受けたとき、各種被災者支援を受けるためには罹災証明書の交付を受ける必要があります。

その前提として、申請に基づき町職員等が住家の被害認定調査を行いますが、その前に建物の除去や被害箇所がわからないような修理や片付け等をしてしまうと、その調査が困難になってしまいます。

そのような場合、安全を十分に確保したうえで、可能な限り被害状況について写真撮影をし、保存していただきますようお願いいたします。

写真の撮り方などは、下の図を参考にしてください。

こちらのサイトで住まいが被害を受けたときに最初にすることを紹介しています。
詳細は右記の二次元コードまたはホームページをご覧ください。



【災害で住まいが被害を受けたときに最初にすること】

<https://www.gov-online.go.jp/prg/prg22018.html>

住まいが被害を受けたとき最初にすること

災害で住まいが被害を受けたときは、あまりのショックに、何から手を付けたらいいかわからなくなるかもしれません。被災者の方々が一日も早く日常生活を取り戻せるように、行政も様々な支援に動き出します。これらの支援も受けながら、一歩ずつ再建を進めていきましょう。その支援を受けるためにも、被害状況を写真で撮るようお願いします。

家の被害状況を写真で記録しましょう

片付けや修理の前に、家の被害状況を写真に撮って保存しておきましょう。市町村から罹災証明書を取得して支援を受ける際や、保険会社に損害保険を請求する際などに、たいへん役に立ちます。

ポイントは、家の外と中の写真を撮ることです。

家の外の写真の撮り方

- カメラ・スマホなどでなるべく4方向から撮るようにしましょう。
- 浸水した場合は、浸水の深さがわかるように撮りましょう。
※メジャーなどをあてて「引き」と「寄り」の写真をとると、被害の大きさが良くわかります。

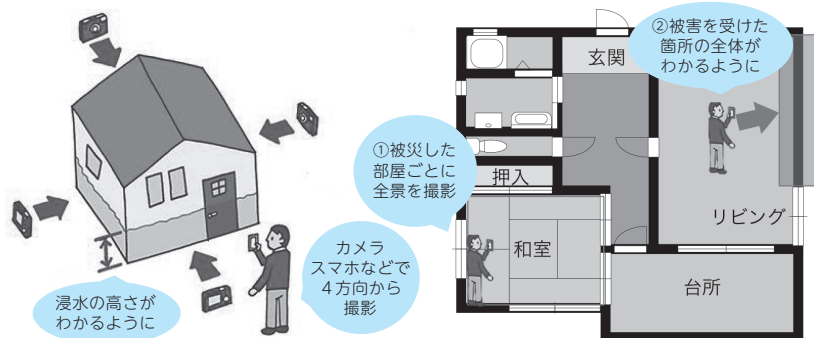
家の中の写真の撮り方

- 家の中の被害状況写真は、
①被災した部屋ごとの全景写真
②被害箇所の「寄り」の写真を撮影しましょう。

——— 想定される撮影箇所 ———
内壁、床、窓、出入口、サッシ、襖、障子、システムキッチン、洗面台、便器、ユニットバス など

<イメージ図>

★被害を受けた部屋・箇所は全て撮影しましょう。



内閣府・茨城県・城里町

【問合せ】 税務課 固定資産税グループ ☎ 029-288-3111(内線 122・123)